

<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	<p>進捗状況</p>
<p>取組内容①【基本的生活習慣の確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他校や地域との交流の場を増やし、あいさつの大切さを自覚できるようにする。 ・進んで元気なあいさつがいつでもできるように、全教職員が日常的に指導する。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他校や地域との交流をする際、事前にあいさつについて指導し、事後にふりかえりを行う。（あいさつカードを作成する。） ・毎朝の登校時や、学級朝会、毎週の児童朝会、強調週間であいさつ指導を実施する。 <hr/> <p>結果と分析・次年度に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイタッチデーなど、あいさつへの意識を高める取り組みを工夫して行い、日常的に指導を進めてきた。あいさつ強調週間では、各委員会が工夫して取り組みを行ってきた。その結果、自分から進んで元気なあいさつができる児童が増えてきた。しかし、恵美小学校以外の場や人に対しては、言われなければあいさつができなかったり、消極的で声が小さくなったりする児童もいる。 ・交流行事の際にはあいさつカードを作成し、事前と事後にふりかえりを行ったが、後期は回数が少なく継続できなかったため、あいさつが定着するまでには至っていない。 ・学校全体であいさつの取り組みについて共通理解を図り、一年間を通して指導を統一したり、強調週間の時のめあてを明確にしたりする必要がある。 	<p>B</p>

<p>取組内容②【規範意識の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の清掃活動で、奉仕の気持ちを育てるために、全教職員が日常的に指導する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そうじがんばりカードを作り、目に見える形でほめる。 ・毎週のなかよし班そうじで、ふりかえりを行う。 <p>結果と分析・次年度に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そうじがんばりカードを作り、目に見える形で子どもたちをほめてきた結果、掃除に対する意欲の向上につながった。「目指せそうじ名人」の取り組みでは、レベルアップのしくみやシールが効果的だった。なかよし班そうじでは、役割を意識してそうじに臨むことができていた。異学年交流としても意義のある取り組みであり、ふりかえりを行うことで、そうじに対する意識が明確になった。しかし、準備不足で取り組みを徹底するまでには至らなかった。 ・そうじの分担場所や教職員の役割分担などを工夫し、しっかりと児童をみることで、児童の意欲が継続する取り組みを進めていく必要がある。 ・学校全体でそうじの取り組みについて共通理解を図り、1年間を通して指導を統一し、継続できる仕組みをつくる必要がある。 ・奉仕の気持ちを育てるために、日常の指導だけでなく、道徳の時間などに「勤労・奉仕」について重点的に進めていく必要がある。 	B
<p>取組内容③【人権を尊重する教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低、中、高チームの授業や交流行事等で人権教育実践に取り組み、子ども同士、教職員、保護者、地域の人々との関わりを意識できるようにする。 ・児童理解研修会を実施し、児童が人権の大切さを意識できるように取り組む。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回人権教育推進委員会で、各チームの取り組みを報告する。 ・人権教育実践報告会を年1回行う。 ・全教職員が参加する児童理解研修会を2か月に1回実施する。 <p>結果と分析・次年度に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育推進委員会・人権教育実践報告会を予定通り実施し、各チームの取り組みを報告することができた。1年を通して進めてきた恵美小学校での人権教育の取り組みを浪速区の人権教育実践交流会で発表することができた。 ・全教職員が参加する児童理解研修会を予定通り実施し、児童についての共通理解を図ることができた。 ・今後は、児童の現状を知り、一人一人についての理解をさらに深めることができるようにすることが必要である。担任だけでなく、他の教職員も知っておくべきことをタイムリーに報告できる環境づくりに努めていくことが必要である。 	A